

経済学研究科 博士後期課程

■一般入試

「学力検査等の内容」

書類審査、筆記試験／英語※1（60分）、面接※2

※1 試験時に辞書を貸与

※2 本学の博士前期課程を修了し博士後期課程に進学を希望する者の学力試験に関しては、別に定める内規による。

「合否判定の方法及び基準」

学力試験である筆記試験、面接試験及び提出修士論文、専門職学位論文又はそれに相当する学術論文と研究計画書の審査により、総合的に合否判定を行います。

■学内推薦

「学力検査等の内容」

書類審査、口述試験※1

※1 博士前期課程修了後、一定期間（原則3年以内）経過した者で、学内推薦基準（修士論文の評点が80点以上であることが原則）を満たし、かつ、指導予定教員から書面による推薦を得ている志願者の口頭試問は別途実施。

「合否判定の方法及び基準」

書類審査及び口述試験により、総合的に合否判定を行います。

■学内推薦（国際社会科学部_A日程・B日程）

「学力検査等の内容」

書類審査、学力試験／経済学※1（150分）、面接

※1 出願時に、「財政」、「金融」、「経済史」、「統計学・計量経済学」の4分野のうち1分野を選択。選択した1分野から2題、加えて「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」の2分野から各2題、計6題を出題。この6題より3題を試験場において選択し、解答すること。同一分野から2題を選択可。

「合否判定の方法及び基準」

書類審査、経済学の学力試験及び面接により、総合的に合否判定を行います。

■学内推薦（早期卒業_A日程・B日程）

「学力検査等の内容」

書類審査、面接

「合否判定の方法及び基準」

書類審査及び面接により、総合的に合否判定を行います。

■経済学部卒業生向け（A 日程・B 日程）

「学力検査等の内容」

書類審査、面接

「合否判定の方法及び基準」

書類審査及び面接により、総合的に合否判定を行います。

■社会人入試（A 日程・B 日程）

「学力検査等の内容」

書類審査、筆記試験／小論文（120 分）・英語※ 1 （60 分）、面接※ 2

※ 1 試験時に辞書を貸与します。

※ 2 受験科目及び研究計画に関する口述試験を実施

「合否判定の方法及び基準」

書類審査、筆記試験及び面接により、総合的に合否判定を行います。